令和3年5月31日 市長記者会見 会議録

＜ 開催時間 ＞　　14:00～

＜ 会 場 ＞　　庁議室（ 市役所本館3階 ）

＜ 会見案件 ＞　　①6月補正予算案の概要について
②新型コロナワクチン接種について
③福井ジェニック創出事業について

＜ 出 席 者 ＞　　東村市長、西行副市長、総務部長、財政部長
まち未来創造課長、財政課長、新クリーンセンター準備課長、ワクチン接種推進課長
おもてなし観光推進課長、商工振興課長、農政企画課長、教育総務課長、スポーツ課長
広報課長、広報課副課長、秘書課長

＜ 出席報道機関 ＞　　NHK（藤田）、共同通信（伊藤）、時事通信（杉本）、県民福井（北原）、日経新聞（鈴木）、
福井新聞（児島・菅野）、毎日新聞（横見）、朝日新聞（八百板）、福井テレビ（青木）、
読売新聞（西平） ＜以上10社＞
※ 欠席

＜ 発 表 内 容 ＞

広報課長： 定刻となりましたので、これより市長記者会見を行います。市長、よろしくお願いします。

福井市長： 昨日は、東京オリンピックの聖火が本市を駆け抜け、次の石川県に、無事にバトンタッチすることができ、安堵しているところです。
なお、最終ランナーで、本市の観光大使を勤めてくださっている津田寛治さんですが、本日、東京で開催されます「第30回日本映画批評家大賞」で主演男優賞を受賞されると伺っております。折に触れて、ふるさと福井をPRして応援してくださっておりますので、この度の受賞は、私といたしましても大変嬉しいニュースでございます。

さて、本日は、6月補正予算案の概要ならびに新型コロナワクチン接種など3点についてご説明させていただきます。

まず、1点目の補正予算案の概要についてですが、今回の補正予算案は、先に専決処分を行いました補正予算と合わせ、新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな影響を受けている市民生活や地域経済への支援をはじめ、各種施策を推進するために予算措置が必要になった事業などについて計上するものです。

補正予算案の規模は、「6月補正予算案の概要」の1ページに記載のとおり、

一般会計で、　　10億6,460万7千円
追加いたします。

この結果、補正後の予算総額は、
一般会計で、　1,180億4,840万7千円
全会計では、　2,228億1,940万7千円
となります。

それでは引き続き、補正予算案の詳細につきまして、財政部長から説明いたします。

財政部長：それでは、お手元の資料「6月補正予算案の概要」により、ご説明を申し上げます。
まず、1ページにつきましては、ただいま市長が申し上げました、会計別の総括表でございます。

2ページをお開きください。
これは、一般会計の財源について表したものでございます。
分担金及び負担金で　　70万円
国庫支出金で　　9億　403万5千円
県支出金で　　1億1,711万円
繰越金で　　236万2千円
市債で　　4,040万円
をそれぞれ追加いたします。

3ページをご覧ください。
これは、一般会計の歳出を款別に表しております。
総務費で　　2,702万7千円
民生費で　　2億7,487万6千円
衛生費で　　150万円
農林水産業費で　　7,739万6千円
商工費で　　1億6,596万8千円
土木費で　　4,686万2千円
教育費で　　4億5,767万8千円
災害復旧費で　　1,330万円
をそれぞれ追加いたします。

4ページをお開きください。
今回計上しました事業の一覧でございます。

6ページをお開きください。
第一に、「新型コロナウイルス感染症対応に関する事業」のうち「安全・安心な市民生活の確保」としまして、

1番 低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金事業 です。
低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給いたします。

新規 2番 「新たな日常」に向けた学習環境整備事業 です。
新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、子どもたちの健やかな学びの環境を保障していく「新たな日常」を実現するため、小中学校の特別教室に空調設備を整備いたします。

7ページをご覧ください。
3番 修学旅行キャンセル料補助事業 です。
修学旅行をやむを得ず中止した場合に生じるキャンセル料等を支援いたします。

続きまして、「地域経済の支援」に係る事業です。
新規 4番 小規模事業者ポストコロナ対応加速化事業 です。ポストコロナ社会に向けた小規模事業者の取組を加速するため、非対面型ビジネスモデルやサービス導入に要する費用を支援いたします。

5番 小規模事業者持続化実行支援補助事業 は、
国の小規模事業者持続化補助金（低感染リスク型ビジネス枠）を活用した小規模事業者に対しまして、国からの補助金に10万円を上乗せして支援いたします。

8ページをお開きください。

新規 6番 宿泊滞在型観光促進事業 です。
市内宿泊施設の平日利用者に対する宿泊割引を行います。

新規 7番 宿泊事業者等事業継続支援事業 は、
宿泊事業者及びタクシー事業者の事業継続を支援します。

9ページをご覧ください。
新規 8番 周遊・滞在・体験観光推進事業 です。
地元の良さを再発見するマイクロツーリズムや市内の自然・歴史・文化・産業を活かした体験型観光の促進及びオンラインツアーを実施いたします。

拡充 9番 夜間観光促進事業 では、
夜間イベントの実施やプロジェクションマッピングによる夜間景観を創出することにより、市内宿泊者の夜のまち歩きを促進し、観光消費額の拡大につなげます。

10ページをお開きください。
新規 10番 スマート農業導入実証事業 です。
認定農業者等のスマート農機具（ICT農業機械）導入を支援し、省力化、高品質化による収益向上など経営基

盤の強化を図ります。

11番 ふくいの農林水産物魅力PR動画作成事業は、
「ふくい一押しの逸品」等の魅力をPRする動画を作成し、消費拡大を図り農林漁業者を支援します。

また、
12番 地域森林環境整備事業は、
林業の経営安定と地域の森林環境を維持するため、小規模な森林整備活動を行う林業経営体を支援します。

11ページをご覧ください。
新規 13番 地魚消費応援事業です。
水産物の消費を拡大するため、地魚を使った水産加工品を学校給食に提供いたします。

次に「新しい生活様式への対応」といたしまして、

新規 14番 ふくい関係案内人ブック&ムービー制作事業 です。
新型コロナウイルス感染症の影響により地方移住への関心が高まっていることから、本市と地方に関心を有する都市住民等をつなぐ接点となる「ふくい関係案内人」を発掘いたします。

12ページをお開きください。
新規 15番 移住キャンペーン は、
都市部の若年層を中心に地方移住への関心が高まっていることから、住みよさなど本市の情報を発信するほか、移住支援金に特別加算を設け移住の促進を図ります。

なお、「参考」として掲載しましたが、令和3年度の新型コロナウイルス感染症対応に関するこれまでの予算総額も掲載しました。今回の6月補正予算案も含めて、11億2,505万8千円でございます。

13ページをご覧ください。
第二に、「国・県の補助金等に伴う事業」でございます。
新規 16番 福井駅周辺歩行者空間活用事業です。
オープンカフェ等のにぎわい施設の導入を検討するため、「ほこみち」制度導入に向けた社会実験を行い、道路空間を活用する民間事業者の発掘、仕組みづくりを検討します。

また、
拡充 17番 ワーケーション推進事業は、
越前海岸エリアでのワーケーション環境の充実を図るため、スポーツ型電動アシスト自転車の導入や新たな体験メニューの創出に取り組みます。

14ページをお開きください。
18番 地域介護福祉空間整備等補助事業です。

介護施設等において看取りを行う家族向け宿泊室の整備など看取り環境整備や介護職員の人材確保に繋がる宿舎施設整備などの事業に対し支援します。

また、
新規 19番 不育症検査費用助成事業 です。
不育症検査のうち、先進医療として実施される検査費用の一部を助成します。

そして、
20番 定置漁業振興支援事業 は、
定置網漁業の持続的な経営を支援するため、定置網の更新にかかる費用を支援します。

次に、
新規 21番 ふるさとの魅力発信推進事業 は、
児童生徒が自らの地域を探求し、地域の魅力を発信するCMを作成することにより、地域社会への誇りと愛着の醸成を図るものです。作成した作品を県主催の「ふるさとCMコンテスト」に応募いたします。

15ページをご覧ください。
第三に、各種施策を推進するための取組でございます。
「災害復旧事業」として
22番 林道施設災害復旧事業 です。
本年2月及び3月の大雨により被災した林道を復旧いたします。

また、23番 漁港施設災害復旧事業 は、
本年1月の波浪により被災した漁港の防波堤を復旧いたします。
「その他」として、

24番 除雪機械整備事業です。
安定的な除雪体制を確立するため、除雪車を計画的に更新・増強します。

また、
25番 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施事業です。
東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ時の感染拡大防止対策として、選手、役員及び一定の接触のある自治体関係者等に対し、原則毎日のPCR検査を実施するため、事業費を増加します。

16ページをお開きください。
第四に、「債務負担行為の設定」でございます。
26番 ごみ処理施設整備・運営事業につきましては、
新たなごみ処理施設を整備し、安定したごみ焼却を行うため、令和4年度から令和27年度まで433億3,900万円の債務負担行為を設定します。
以上、令和3年度6月補正予算案の概要につきましてご説明させていただきました。

質 疑 応 答

広報課長
それではただいまの 6 月補正予算案の概要について質疑応答を行います。質問の際は、マイクをお渡ししますので、挙手のうえ、社名とお名前の後に発言をお願いします。

毎日新聞
毎日新聞の横見です。まず 6 ページの 2 番「新たな日常」に向けた学習環境整備事業について、空調設備の整備というのは具体的にどういった空調設備になるのでしょうか。

財政部長
空調設備は、エアコンを導入するということです。

毎日新聞
それはコロナと関係があるのですか。

財政部長
現在、生徒はマスクを着けて授業を行っており、暑い中、学習環境としても非常に辛い状態が予想されます。普通教室の整備は終わっていますが、今回特別教室にもエアコンを入れることにより、そういった負担を軽減していきたいと考えています。

毎日新聞
例年だと気温が高くなってから、エアコンを入れているが、今年は早い段階からエアコンを入れるということでしょうか。

財政部長
この事業はエアコンがない特別教室にエアコンを設置するというハード整備の事業なので、エアコンの運用の話ではございません。

毎日新聞
マスクをしていて暑いので、エアコンがなかった特別教室にエアコンを設置するということでしょうか

財政部長
はい、そういうことです。

毎日新聞
次に、修学旅行のキャンセル料の補助事業についてですが、コロナが続く限り、キャンセル料は必ず発生するものなのでしょうか。

財政部長
そうとは限りません。今までにも、県外ではなく県内で修学旅行を実施した事例もあります。ただ、県内での修学旅行も控

えた方がいいのではないかという状況になり、キャンセル料が発生した場合に対処するための予算です。

毎日新聞
次に、15 ページのオリパラの事前キャンプの PCR 検査についてですが、事前キャンプの期間中は原則毎日 PCR 検査をするということでしょうか。

財政部長
期間中は関係者全員、検査をするという形です。

毎日新聞
毎日PCR検査を行うというのは、どういった根拠からされることになったのでしょうか。

スポーツ課長
選手、選手に帯同する職員、バスの運転手、通訳については毎日検査を受けるようにという国からの指示があり計上いたしました。

毎日新聞
ありがとうございます。

ＮＨＫ
今ほどのPCR検査に関連してだが、規模的には何人くらいを想定しているのでしょうか。

スポーツ課長
オリ・パラあわせて、全体で 280 名を予定しています。

日経新聞
日経新聞鈴木です。地域経済への支援について、比較的宿泊事業者への支援が多いように感じるが、その狙いと市内の宿泊事業者は現在どのような状況にあるのか、市で調査されたものがあれば教えてください。

財政部長
前の Go To トラベルの時には、単価の高い旅館などにはお客さんが結構入っていたようですが、例えば市内のビジネスホテルなどは比較的利用が少なかった。コロナ前に比べ非常に厳しい状況にあるという宿泊事業者に対して支援を行いたいと考えています。

日経新聞
宿泊だけではなく、飲食や物販、施設どこも厳しい状況にあると思うが、中でも宿泊に重点を置く狙いを教えてください。

福井市長
今、飲食なども非常に厳しい局面を迎えているが、宿泊関係は規模も大きく打撃が大きいこと等を考え、昨年の支援の実績等を見ながら、宿泊関係への対応を決めたところです。

日経新聞：
観光客を呼び込むための支援策が増えてきていると思う。以前は、まずコロナを抑えようという予算だったと思うが、状況が少しずつ変わってきたということでしょうか。

福井市長
ワクチンの状況など昨年と比べて変わってきている部分もあるので、状況を見ながら対応策を考えていくことが必要だと思っています。

日経新聞
少しずつ経済を動かしていく方向に福井市としても舵を切っていくということでしょうか。

福井市長
我々のところだけで経済は動くわけではないが、日本全体あるいは世界全体で経済を動かしていく中で、積極的に参画をしていこうと考えています。

福井新聞
福井新聞の児島です。3 番の修学旅行キャンセル料補助事業について、昨年度も同様の事業があったと思うが、その支援状況について教えてください。これまでに発生したキャンセルに対してはどのように支援されているか。
昨年発生したキャンセルに対する支援はどのような規模でされているのか。

広報課長
では、担当課から説明お願いします。

学校教育課長補佐
昨年度も同様に学旅行キャンセル料補助事業を実施した。予算額の1割程度を執行しました。修学旅行について、全面的に取りやめたところはなく、行き先や日程変更により、全ての学校が修学旅行に行けた状況です。

福井新聞
予算計上したうち1割程度で、全面的にキャンセルになった場合の支援を行ったということでしょうか。昨年も 1 人あたりの旅行代金を20%補助しているというでしょうか。

学校教育課長補佐
はい、20%を目途に計上いたしました。

福井新聞
今年度の計上額はどれくらいの規模を想定しての計上しているのでしょうか

学校教育課長補佐
今年度も同じく20%を上限としているが、前回と比べて、もともと県内を行き先としている学校が多いので、それを見越して、

昨年より少ない金額の計上になっております。

福井新聞
1割程度の執行ということでしたが、上限の20%を引き上げる事は考えているのでしょうか。

学校教育課長補佐
基本的に上限20%ですと出発までの 8 日前までに旅行を中止するというのを決定するということになるので、意思決定をする十分な時間があると考えています。

福井新聞
ありがとうございました。

読売新聞
読売新聞の桑田と申します。15 ページのオリ・パラの事前キャンプの関係で、予算に上がっているスロベニアの代表選手団はキャンプに来るというのか、現在協議中なのか、どの程度、決まっているのでしょうか。

福井市長
来るという前提でいます。ただし、予選を通過していない競技もあるので、予選の結果が出るまでは保留になっている部分が多いです。

読売新聞
規模は多少小さくなることですか。

福井市長
結果としてはそういう可能性はあります。

県民福井
県民福井の北原です。13 ページ 16 番目の事項で、中央大通りでの社会実験ということで、県との役割分担と社会実験後の実際の事業の進め方はどのように考えているのでしょうか。

福井市長
中央通りは県道なので、県とも連携を取りながら事業を進めていかなければなりません。
今、中央大通りのところでオープンカフェや車道を狭めることでできたスペースを利用してできることはないかなど検討して進めていきたいと考えています。

県民福井
社会実験を踏まえて、その効果が十分見込めた場合、実際にこの制度を導入するときは、県が道路の工事を行い、福井市が活動する事業者を募集するということでしょうか。

福井市長

詳細はまだ決定していないが、「ほこみち」の制度ができたこともあり、国の補助金での運営など検討事項として、今後も進めていきたい。

日経新聞
日経新聞の鈴木です。12ページ15番の移住キャンペーンについて、福井市として移住者の呼び込み方針やねらいなど今後どういう形で進めていくのか、説明願います。

福井市長
コロナの情勢の中で、若い方たちの中にはＩターン 、Ｕターンを思い描いている方も多くいると、様々な調査の結果にも表れていますので、その方たちに福井に目を向けてもらう事業展開を行っていきたいと考えています。
越前海岸沿いにある宿泊機能を有効に活用しながら実験的に行う中で、今いろいろと県外にアプローチをしている状況です。

日経新聞
実際コロナ禍の中で首都圏からの地方への移住が増えているという話だが、福井市の状況としてはいかがでしょうか。

福井市長
福井への関心は寄せていただいているが、結果があまりついてきていない状況です。ただし、都会の方から地方都市の方に目を向けるような形が今進んでいるということは実感しているので、何か不足しているものがないかなど、様々な話を聞きながら、フォローしていきたいと思っています。

広報課長
先ほどの回答で一部訂正があります。

スポーツ課長
スポーツ課です。先ほどPCR検査の全体の人数の質問がありました。そこで総勢280名と回答しましたが、280名の内訳は選手と自治体関係者の人数です。その他にスポーツ選手が利用する宿泊施設、スポーツ施設の関係者はおよそ260名想定しています。合わせておよそ540名がPCR検査の対象となります。訂正してお詫び申し上げます。

広報課長
それでは質疑がないようなので、財政部長席の移動をお願いします。

広報課長
それでは引き続き市長よろしくお願いします。

福井市長
それでは次に新型コロナウイルスワクチン接種体制の拡大についてご報告を申し上げます。
本市における新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、
市医師会、市薬剤師会、県看護協会の全面的な協力のもと、市内各医療機関における個別接種および、市体育館サブアリーナ、市防災センターにおける集団接種を開始したところです。

接種にあたっては、目立った副反応報告もなく、順調に進んでいると考えております。

また、接種のスケジュールについてですが、当初計画では、8 月末をめどに高齢者への接種を完了させたいと考えておりました。

しかしその後、国から、高齢者への接種を7月末までに完了するよう方針が出され、本市としましても、当初不透明であったワクチン供給スケジュールなど国における今後の対応が見極められたことから、本市の高齢者の命と健康を守るワクチン接種を加速させることが何より重要と考え、市医師会、市薬剤師会、県看護協会のさらなる協力のもと、接種体制を拡大することといたしました。

まず、集団接種については、5 月 27 日から、新たに市体育館サブアリーナにおいて木曜日午後の接種を開始いたしました。

また、5 月 29 日からは、防災センターの接種受け入れ人数を 120 人から 150 人に拡大したところです。

さらに 6 月からは、新たに市体育館サブアリーナで土曜日午後の接種を開始するとともに、日曜日の接種受け入れ人数についても、現在の 300 人から 450 人に拡大いたします。

これらの取り組みにより、7 月末までに、新たに約 5 千回分の接種が可能となります。

次に、個別接種についてですが、これについても接種回数の拡大に向け、現在ご協力を頂いている医療機関に対して、市医師会と共同で改めて接種数の調査を実施いたしました。さらに、現在接種を行っていない医療機関に対しても、今後ご協力を頂けないか、改めて依頼を行いました。

その結果、5 月 28 日時点で 81の医療機関から接種数の拡大、4 の医療機関から新たに接種を実施するとの回答を頂いたところです。

これにより、個別接種においても、7 月末までに新たに約 1 万6千回分の接種が可能となります。

なお、個別接種の拡大分については、明日 6 月 1 日から予約を開始いたします。

これら本市の取り組みに、県が実施を予定している大型集団接種が加わることで、接種を希望される高齢者の 7 月末接種完了に一定の見通しが立つと考えております。

予約がお済みでない方や、予約日が 8 月となっている方は、予約日の変更もご検討いただきたいと思います。

なお、こうしたワクチン接種の拡大に迅速かつ円滑に対応できる組織体制とするため、6月1日付けでワクチン接種推進課に3名の職員を増員することといたします。

次に、高齢者接種に次ぐ優先接種について申し上げます。

現在接種を進めている高齢者の方に続き、次の優先接種の対象となるのが、60 歳から 64 歳の方、年齢区分に関係なく基礎疾患を有する方（16 歳から 59 歳）、高齢者施設従事者の方です。

このうち、基礎疾患を有する方を把握するため、16 歳から 59 歳の全ての方に調査票を送付させていただきます。

調査票の発送は 6 月 10 日を予定しています。

調査票がお手元に届きましたら、調査票に記載の基礎疾患を有する方は、必要事項をご記入の上、同封の返信用封筒で 6 月 21 日までにご返送をお願いいたします。

その後、調査結果を踏まえ優先接種に該当される方の接種クーポン券を作成し、7 月中旬から順次発送させていただく予定です。

新型コロナウイルスワクチン接種については、国が示す接種順位に基づき順次接種が行われますので、ご自分が接種対象となるまで今しばらくお待ちいただきたいと思います。

次に、「福井ジェニック創出事業」について、申し上げます。

北陸新幹線福井開業を見据え、特に若者の旅行ニーズやSNS利用を喚起させる新たな観光資源を創出し、旅行機運の醸成につなげるため、本市では、SNSでの拡散を意識した「福井ならではの写真映えする食」の開発を進めてきました。

いよいよ明日から、開発したメニューの提供を始めますので、皆さんにご紹介いたします。

まず、商品のブランドネームは「粋福（ふくいっぷく）」といたしました。

これは、旅の途中で一休みするという意味の「一服」を、派手さはなくとも、奥ゆかしく、深みがある素材という意味での「粋（いき）」という文字と、福井の日々の暮らしの中に溢れているいろいろな幸福という意味での「福」という文字の2文字で表現したものです。さらに、「ふくい」での旅の途中に「いっぷく」していただくという想いを、「ふくいっぷく」という読み方に込めました。

また、この「粋福（ふくいっぷく）」のロゴも制作いたしました。

幸せを連想させるよう、「粋（いき）」の文字に水引をイメージしたリボンを挿入し、「福」には縁起が良いとされる「八角形」を赤色で忍ばせています。

「粋福（ふくいっぷく）」のメニューは、全部で4種類を予定していますが、まず第1弾として、明日、6月1日から、「粋福（ふくいっぷく）ごはん」と「粋福（ふくいっぷく）パフェ」の2種類の提供を始めます。

「粋福（ふくいっぷく）ごはん」は、福井が誇る海の幸、山の幸を枡（ます）にぎゅっと詰め込んだ、福井の味覚を存分に味わっていただけるメニューです。福井の米に、若狭牛や甘えびなど福井を代表する食材をふんだんに使った、バラエティ豊かな御膳です。器には、「粋福（ふくいっぷく）」と「福いいネ！」のロゴをあしらったオリジナル枡（ます）を使用いたします。

市内の3店舗で、明日以降、順次提供を始めます。

また、「粋福（ふくいっぷく）パフェ」は、レトロで懐かしさを感じるパフェです。

福井銘菓の羽二重餅を盛り込んだクリームソーダ仕立てのパフェで、旅の途中でちょっと「一服」する時に、手軽に食べられるスイーツです。器には、「粋福（ふくいっぷく）パフェ」オリジナルグラスを使用いたします。

市内の5店舗で、同じく明日からの提供となります。

いずれのメニューも、各店舗で独自のアレンジを加えており、同じ「粋福（ふくいっぷく）」メニューでもひと味違ったおいしさを楽しんでいただけます。

また、今年の秋ごろには、「粋福（ふくいっぷく）こびり」と「粋福（ふくいっぷく）スープパエリア」の提供を予定しております。

これらの「粋福（ふくいっぷく）」メニューが観光誘客の起爆剤となるよう、今後、大手旅行雑誌への掲載やSNSを活用した積極的な情報発信など、認知度の向上にも取り組んでまいります。

なお、本日、実際に店舗で提供する「粋福（ふくいっぷく）ごはん」をお持ちしておりますので、後程ぜひご覧いただきたいと思います。

私からは、以上です。

＜ 質 疑 応 答 ＞

広報課長：それでは、ただ今の2つの案件について質疑応答を行います。いかがでしょうか。

NHK
NHK の藤田です。先程、ワクチン接種が 7 月末の完了に一定の見通しがついたとおっしゃっていたが、先日の市議会の委員会では 8 月に予約している方が約 1 万 4000 人いると言っており、先程 1 万 6000 回分新たに接種可能になったと言っていたので、個別接種だけで既に8月予約をしている分が追加でカバーできる体制になったということだと思う。なので、一定の見通しがついたというよりも、7 月末完了で目処が立ったということでよいのではないでしょうか。

市長
目途は立ったが、先程も申し上げたように、ワクチン接種の予約日を変更していただかないと 7 月末に終わることにならないため、そこは苦しい胸の内を表現しています。

NHK
高齢者の方たちに次いでのワクチンの優先接種について、60 歳から 64 歳の方、基礎疾患を有する方及び高齢者施設従事者の方達は、平行して同時に接種が始まるのでしょうか。

市長
基本的には基礎疾患を有している方が優先だが、60 歳から 64 歳の方については基礎疾患を有しているという形で、平行して行います。59 歳以下の方々については基本的には基礎疾患を持っている方が優先して行うことになります。

NHK
基礎疾患を有する方についてはこれから人数の把握されるのだろうが、次の優先接種に該当する 60 歳から 64 歳の方と高齢者施設の従事者の人数を教えていただきたいです。

ワクチン接種推進課長
大体の見込みですが、高齢者施設の従事者については約3000人から 5000人。そして 60 歳から 64 歳につきましては約 16,000 人。そして基礎疾患を有する方は人口の約 4%ということで約 2 万人を見込んでいます。合計すると約 4 万人程度と考えています。

NHK
この方たちのワクチン接種の開始についてはいつ頃からと見込んでいるのか。

ワクチン接種推進課長
予定だが、高齢者施設の従事者については県で現在調整をしており、6 月中旬以降に接種予定となっています。次に 60 歳から 64 歳の方については、6 月下旬から 7 月上旬あたりに接種券の発送を考えており、その間に基礎疾患のある方の調査を経て、7 月中旬あたりに基礎疾患を有する方への接種券の発送ができればと考えている。接種の開始時期については、一般の方の接種の体制も含めて、現在調整しているところで、それに合わせて開始していきたいと思っている。

毎日新聞
毎日新聞の横見です。集団接種のワクチン接種を拡大した分で新たに 5000 回分接種でき、個別接種については新たに 1 万 6000 回分接種できるという事でよかったですか。

ワクチン接種課長
その通りです。

毎日新聞
県のワクチンの大型接種も加わってくるが、市の見込みとしては大体何回分加わるのでしょうか。

市長
まだ分かりません。福井市だけでなく、県内全域の状況によって、市の分については変わってくると思うので、もう少々精査していかないと分からないと思います。

毎日新聞
市単独で行っている分だけで 7 月末までの高齢者のワクチン接種の目途が立ったとのことでよかったのでしょうか。

市長
概ねそうであると考えています。

毎日新聞
基礎疾患を有する方について、15 歳以下の子どもで、基礎疾患持っている方もいると思うが、優先されるのが基礎疾患を有する 16 歳以上というのはどのような理由からなのでしょうか。

ワクチン接種推進課長
現在使用しているファイザー製のワクチンの使用について、現在少し変更になってはきているが、当初は 16 歳以上で認められていたことが理由です。

毎日新聞
ワクチン接種について、優先接種の対象の方と、一般の方とそれぞれ、どれぐらいの時期を目指したいと考えているのでしょうか。

市長
ワクチンの配られる量がまだ数字的に的確に見えているわけではなく、もう少し経ってくると数字等も分かってきて、それによっていつ頃にワクチン接種を行えるかなどの計算がしっかりとできるようになると思いますので、お伝えするのは、もうしばらく待っていただきたいと思います

毎日新聞
国のワクチンを配るスケジュールが分かってこないと接種のスケジュールも分からないということですね。

福井テレビ
福井テレビの山田です。資料に拡大する個別接種の医療機関が 81 と記載されていますが、以前頂いた資料によると最大 145 医療機関というふうに示されていたのですが、それに加えて 81 医療機関ということですか。

ワクチン接種推進課長
145 医療機関が現在既に協力いただいている医療機関で、その中で、今回少しでも枠の拡大ができるかということを調査した結果、うち 81医療機関が接種枠を拡大できるということです。

福井テレビ
現状としては、個別医療機関はどれぐらいで運用されているのでしょうか。

ワクチン接種推進課長
145 医療機関に加えて新規で4医療機関と、1カ所接種を行わなくなった医療機関が出まして、現在 148 医療機関となっています。

福井テレビ
現在、最大 148 の個別医療機関で接種が行われているという理解でよいでしょうか。

ワクチン接種推進課長
はい、そうです。

福井テレビ
さらなるワクチンの接種の加速化に向けて、職場での接種や個別医療機関の時間外や休日の接種についても全国的に言われていますが、福井市においてはどうでしょうか。

市長
先ほども申し上げたように、国からのどのくらいワクチンの数が配られるのかまだ分からないところがあります。分かるようになると、ワクチン接種の加速化に向けても、今後の対応を考えなければなりませんが、今は明確に数の設定をできる状況にはないと思っております。

福井テレビ
県が 6 月末にワクチン接種の集団生主会場を設けるが、福井県内では福井市が接種する人数も多いため、どうしても遅れが生じているかと思うが、どのように市と県が連携したら接種が速やかに進んでいくと思いますか。

市長
今は県も、もう少し接種枠を拡大できないかというようなことを考えていただいているため、非常に協力関係はよくなっていると思います。ただ、ワクチン数との関係は当然あるため、そこのチェックをしっかり行いながら進めていく必要があり、県とももちろん協議を進めなければなりません。また、協力を仰いでいる、医師会あるいは薬剤師会などとの連携もしっかりと取りながら進めていくことが必要なため、そちらとの連携も密にしていきたいと思っています。

福井新聞
福井新聞の児島です。先程、先週 1 万 4000 人が 8 月中に予約していて、その方々に予約の前倒しを呼び掛けなければいけないといおっしゃっていたが、その後何人ぐらいが予約の前倒しをされたのでしょうか。

市長
まだその数字はでておりません。

福井新聞
医療機関の協力もあり、枠自体は確保できて、今後どのように予約の変更をしてもらうかについて、高齢の方でインターネットの使用が苦手な方にどのように呼びかけてスムーズに前倒しを実施していくか、市としてどのように働きかけていくのか、教えてください。

福井市長
本日の記者会見で、報道の皆様にもご連絡いたしましたので、皆様からも報道していただきたい。また、これまでのように電話等での質問も受け付けているので、その中で周知できればと思っています。福井市でも様々な広報媒体を活用しながら広く周知に努めていきたい。

福井新聞
細かい質問になりますが、個別接種の拡大に関して4医療機関の追加ということだが、追加の医療機関で予約ができるのが6月1日からで、ワクチン接種ができるのが13日の週以降からという認識でよろしいでしょうか。

ワクチン接種推進課長
148 の医療機関で予約は6月1日から、実際に接種ができるのが6月13日からとなっています。先ほど現在 148 の医療機関で接種できるのかという質問があったが、148 になるのは6月の13日からです。

福井新聞
高齢者に次ぐ優先接種は、基礎疾患がある方と、高齢者施設従事者ということだが、基礎疾患がない16歳から59歳の方の今後の予約や接種クーポン券の発送は、60～64歳の方々のように年代別に分けて発送する予定でしょうか。

福井市長
今はまだ、5歳刻みずつで発送すると決めているわけではないが、60～64 歳の方については年齢との関係も含めてそのような対応を取らざるを得ないと思っています。59歳以下の方に関しては年代別で発送するのかどうかも含めて、ワクチンの数等と比較しながら対応を発表していこうと思っています。

福井新聞
前回、高齢者の優先接種の中でも、予約の混雑緩和として段階的にクーポン券を発送されたと思います。そのような予約の混雑緩和に向けた措置は、何らかは必要であるとお考えでしょうか。

福井市長
以前からの予約の状況を見ると、クーポン券が到達した次の日は非常に混雑することもありました。高齢者に比べて若年層は対象者が多いので、クーポン券が到達した次の日は混雑すると思う。そのため、一度に発送するのではなく、ある程度整理をしながら発送していくことが必要だと思っています。

福井新聞

予約が非常に混雑し、ネットも一時繋がりにくい状況もこれまで見られましたが、一般接種が今後本格化していく中で、予約・接種も含めどのようなことが課題になるとお考えでしょうか。

福井市長
高齢者の方の場合はネット予約の仕方を十分にわかっていない方がいらっしゃったことは確かです。しかし、一般接種の方ではそのような方は減ってくるのではないかと思っています。ただ、ネットでの予約の仕方がわからないという方もいらっしゃると思うので、市役所の窓口で予約をされる場合は、現在も行っているように、市の職員等が対応できるようにしていかなければならないと思っています。

福井新聞
今後、一般接種が進んでく中で、これまでに用意した予約の接種枠や接種体制というのはさらに拡充が必要とお考えでしょうか。それとも今現在まで拡大した部分で賄えるのでしょうか。

福井市長
そのあたりは、ワクチンの入ってくる量によってどのように対応ができるか、どのような対応をとらなければならないかというところが変わってくるので、そのあたりをしっかりと見極めながらワクチン接種を進めていくということになると思います。

時事通信
時事通信の山口です。調査票を仮に出さなかった場合でもクーポン券は届くのでしょうか。

福井市長
調査票とクーポン券は別なので調査票を出さなくてもクーポン券は届きます。

時事通信
調査票が届いても気づかないことがあると思います。調査の期間も 2 週間もないので、調査票についてどのように告知をしていくのでしょうか。

ワクチン接種推進課長
告知については市政広報でお知らせをしたり、調査票を送りましたというようなお知らせをしたり、ホームページ等で周知していきたいと思っています。

時事通信
嫌な質問になりますが、ワクチンを早く打ちたいがために、基礎疾患がないのに基礎疾患があると虚偽の申告をする人が出てくるかもしれないが、そこに関してはどのようにお考えでしょうか。

福井市長
その質問に回答をすると、虚偽の申告をするという動きが増えてしまう可能性があるので、あまり回答はしたくないが、調査票は自己申告なので、その自己申告を信じることしかないと思っています。

時事通信

申し訳ございません。ありがとうございます。

福井テレビ
福井テレビの山田です。今現在のワクチンの予約率と接種率の最新のものを教えてください。

ワクチン接種推進課長
予約率は 5 月 19 日時点のもので約 5 万 6 千人が予約しているということで、接種券を発送した方の約78%近くの方が 2 回目まで予約を完了している。接種率のデータについてはないです。

福井テレビ
早くも国が 64 歳以下の接種を促しているが、福井市としての本音というか、胸の内をお聞きかせいただきたいです。
新しく 3 名、ワクチン接種推進課の人員が増えるということになっているが、どのように捉えているのでしょうか。

福井市長
国が言っているように、できるだけ早く接種をしていただくということを目標に現在進めています。ただ、全国的に同じような問題を抱えていますが、どれだけのワクチンが来るのかなどと比較しながらしかやっていけないので、その部分がしっかりと見えるような形に早くなってくれればよいと思っています。

福井テレビ
ありがとうございます。

共同通信
共同通信の松本と申します。今の話に関連して、一部の報道で優先接種対象の 60～64 歳の方、基礎疾患を有する方、高齢者施設の従事者以外の一般の方にも同時並行という形で接種を進める、という政府の方針が出されたが、福井市でもそういった体制作りの検討をしているのか。

福井市長
それがもし本当に実現可能な話だということになれば、福井市もやっていかなければならないと思います。現段階ではまだワクチンの数の問題などが、今一つ明確ではないので、同時並行で接種を進めると言うと非常に混乱をきたすのではないかという不安があります。

読売新聞
読売新聞の桑田です。県が特設接種会場を設けるということで、モデルナのワクチンを使用されるかと思います。県でモデルナ、市でファイザーということで、市民がモデルナに変更したいなど、予約の変更の関係でそのような要望が来ていたりするのでしょうか。

福井市長
今のところ、そのような問い合わせ等はまだないですが、変更したいという問い合わせがくることは予想されます。1 回目の予約を完了していたが、日程を変更したら、思っていたワクチンではなかったというようなこともあると思うので、周知の仕方などでしっかりとした説明ができないと難しいだろうと思います。そのためにも数がはっきりと見えてきて方向性をどうす

るかということを整理していかなければならないと思っています。

広報課長
それでは、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。